

# 一般会計

# 補正予算 1億1,935万円

平成18年9月定例会（第3回）が9月5日から21日の日程で開催された。障害者自立支援法に伴う事業費や災害復旧のための費用など一般会計補正予算1億1,935万円を可決した。また、議員発議として「小城市議会の議員の報酬月額の特例に関する条例」を全会一致で可決した。



▲寺浦の災害現場

## 主な事業

### 災害復旧事業

(4,048万円)

豪雨災害復旧の主なもの  
○ 四月十日の集中豪雨により、被害をうけた小城市の市道二路線の復旧工事

- ① 寺浦・荒谷線二十二メートル、五百三十万円
- ② 本山(ほんざん)一号線六メートル、百四十万円
- 六月二十四日、最大

時間雨量四十七・五mm

hの集中豪雨により牛津

町谷地区民家の裏山が十

七メートル崩壊した。こ

の復旧費四百六十七万円。

○ 五月から七月にかけての豪雨により被害を受けた小城市の急傾斜地指定箇所二地区の復旧保全工事。

- ① 江里山一地区、十四メートル、三百九十万円。
- ② 原田地区、十九メートル、四百三十万円

## 障害者相談支援事業

(516万円)



▲早速稼働している相談室

## 小城市地域共生ステーション支援事業

(520万円)

佐賀県が実施する「地域共生ステーション(ぬくもいホーム)推進事業と連携して実施するもので、高齢者、障害者、児童など複数の対象に向けた多様な福祉サービスを行う。

多岐市と共同で小城市社会福祉協議会に委託して実施するもの。小城市保健福祉センター「桜楽館(さくらかん)」に相談室を設け、障害者や介護を行う方などからの相談に応じ、必要な情報の提供や権利擁護のための必要な援助を行う。そのため専門的職員など三名を新たに雇用し、障害者の方などが自立した日常生活が送れるよう支援する。

う。NPO法人「たすけあい三日月」が運営するデイサービス、一時預かり、送迎、サロンの事業及び施設整備に関して助成をし、すべての人が住み慣れた地域で個人として尊重され、自立した生活ができることを目指して行政、地域住民、社会福祉事業者、ボランティア、NPOなどが協働して「共に支え合う社会づくり」を目指す取組みである。



▲改築工事が始まった小城幼稚園

### 重松邸解体

(300万円)

小城町平原の重松邸は平成九年に旧小城町に寄附を受け、利活用が決まらないまま放置されていた。二年前の台風による被害もあり老朽化がすすんでいたことから解体することになった。

### 小城幼稚園改築補助

(870万円)

九十年の歴史をもつ私立小城幼稚園の園舎が老朽化に伴い改築される。総工費約一億二千万円。国、県の補助にあわせて市としても補助する。

### 保健福祉センター 駐車場整備

(84万円)



▲玄関前に整備された障害者用駐車場

県の障害者専用の駐車場確保のためのパーキングパーミット制度の導入に伴い、保健福祉センター四施設の駐車場が整備される。各施設入り口に最も近いところを障害者専用の駐車場として表示し、整備する。

### プロ選手を招いて 野球教室開催

(40万円)

佐賀県出身のプロ野球選手(OBも含む)による少年野球・中学野球の指導は、佐賀県内で毎年恒例行事として開催されているが、今年是小城市で開催されることとなった。佐賀新聞社が主催。十二月十七日(日)牛津町総合公園で開かれる予定である。小城市出身の辻彦彦さんも指導者として参加される。



### 人権擁護委員に推薦

平成十八年十二月三十一日をもって二名の小城



眞子 忠敏氏(再任)



平野 章氏

市人権擁護委員の方が任期満了となるので、推薦したものを。

### 議員報酬

### 十月から三パーセント削減

#### 議員報酬等検討 特別委員会にて審議

議員全員の総意により三月議会で特別委員会を設置、四月二十四日委員会を開催、八月まで計六回の委員会において議論を重ね、検討を行った。

#### 議員報酬等検討 特別委員会報告

議員報酬については、特別報酬等審議会の答申を経て決定されておりこの決定方法については

いろいろな意見はあるものの、現在これに代わる良い制度はなく、この答申を尊重すべきである。しかし当市においては厳しい財政運営を迫られており議会として自行政改革に対する姿勢を示すため、議員報酬月額を三%削減すべきである。また、その期間は早急に実施するものとし、現議員の任期期間中とすべきであるとの結論に達した。

※報酬等は年間で約五百四十万円の削減となる。